

広労発基第13号の2
平成25年1月8日

一般社団法人日本建設機械施工協会
中国支部長 殿

広島労働局長



死亡災害の撲滅に向けた緊急要請について

労働行政の推進につきましては、平素から多大なるご理解とご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

さて、労働者の安全と健康確保対策は労働行政の最重要課題の一つであり、労働災害の減少に向けて様々な取組を行っているところです。

しかし、全国の休業4日以上の労働災害の発生状況は、平成24年11月末において前年同期比5.8%の増加を示しており、特に、死亡災害は前年同期比8.8%増、一時に3人以上が死傷する重大災害は前年同期比46.2%増といった状況にあります。

また、広島県内におきましても、労働災害発生状況は対前年比で増加傾向が続いていたことから、平成24年10月以降、数度にわたり労働災害の減少に向けた取組を要請したところですが、残念ながら、平成24年11月末において休業4日以上の労働災害は前年同期比0.7%増と減少に至っていません。

特に、労働災害による死亡者数が、平成22年31人、23年30人、24年31人（平成24年12月31日現在）と3年連続して30人台に達する事態となっています。その推移をみますと、10月～12月の間に集中して発生する傾向が平成23年、24年と続いています。

このような状況から、労働災害の減少を図る上で、現下の「死亡災害多発傾向」にストップをかけることが喫緊の課題となっています。

つきましては、皆様方に、係る事態に対するご理解をいただきますとともに、貴団体としての死亡災害の撲滅のための特段の取組を改めて要請いたします。

また、広報用資料「死亡災害が多発しています！」を同封いたしましたので、貴団体会員事業場の皆様への周知につきましても、何分のご配慮をお願い申し上げます。

平成24年 署・業種別死亡災害発生状況

(平成24年12月31日 現在)

広島労働局

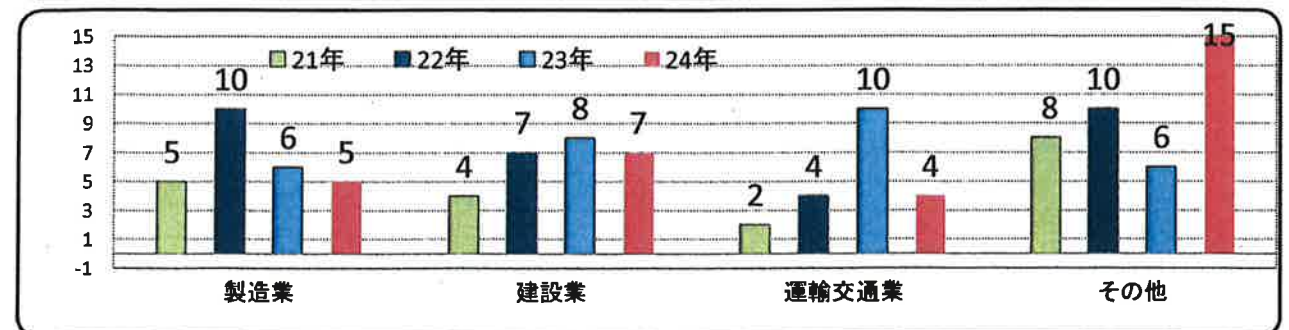
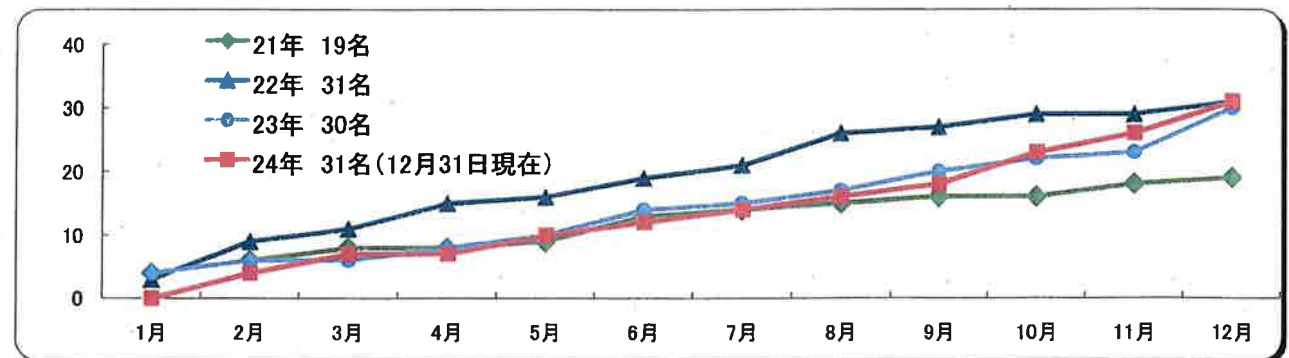
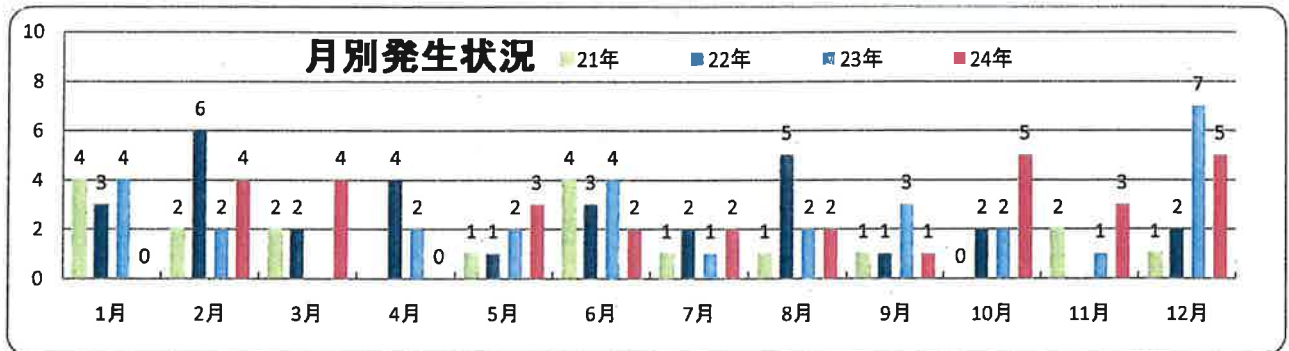
署別	平成23年		平成24年12月31日					増減	業種	平成23年 12月31日	平成24年 12月31日	増減率 %
	年間	12月31日	全産業	製造業	建設業	運輸交通業	その他					
広島中央	7 (2)	7 (2)	9 (3)		3	3 (1)	3 (2)	2	全産業	30 (5)	31 (11)	3%
呉	2	2	5 (2)	1	1		3 (2)	3	製造業	6	5	-17%
福山	5 (2)	5 (2)	9 (5)	1	1	1 (1)	6 (4)	4	建設業	8 (2)	7	-13%
三原	5	5	2	1	1			-3	運輸交通業	10 (3)	4 (2)	-60%
尾道	4	4	1	1				-3	その他	6	15 (9)	150%
三次	2 (1)	2 (1)	1				1	-1	内 農林業		1	+∞
広島北	1	1	3 (1)	1			2 (1)	2	商業	1	8 (8)	700%
廿日市	4	4	1		1			-3	清掃	1	2	100%
合計	30 (5)	30 (5)	31 (11)	5	7	4 (2)	15 (9)	1	訳 その他	4	4 (1)	

(注1) ()は交通事故の内数。

(注2) 平成24年以降は年間の件数。

最終発生日 平成24年12月30日

業種 \ 年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年
全産業	53	41	31	33	70	47	39	35	41	19	31	30
製造業	10	7	8	10	17	9	11	6	19	5	10	6
建設業	21	18	11	7	23	13	6	12	7	4	7	8
運輸交通業	8	7	5	6	16	9	12	8	4	2	4	10



労働者死傷病報告による労働災害発生状況(各年 11月末累計)

広島労働局

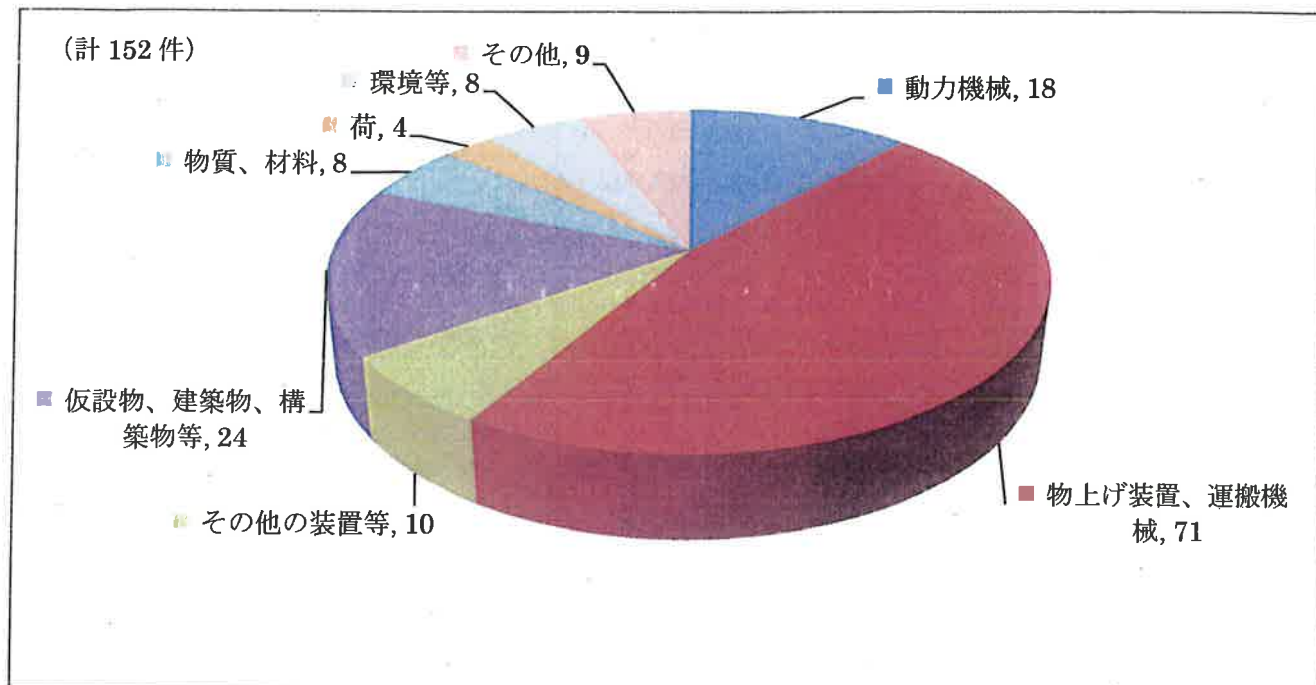
業種	平成22年		平成23年		平成24年		増減数	増減率 %
	死亡	死傷者	死亡	死傷者	死亡	死傷者		
01 食料品製造		158		184		173	-11	-6.0
02 繊維工業		8		6		5	-1	-16.7
03 衣服その他の繊維		10		5		6	1	20.0
04 木材・木製品		36		33		43	10	30.3
05 家具・装備品		21		22		16	-6	-27.3
06 パルプ等		9		9		10	1	11.1
07 印刷・製本		7		4		5	1	25.0
08 化学工業		36		45		45	-	
09 窯業土石		18		16		25	9	56.3
10 鉄鋼業		29	2	28		28	-	
11 非鉄金属		11		6		7	1	16.7
12 金属製品	1	110		127	1	131	4	3.1
13 一般機械器具	1	64		50		65	15	30.0
14 電気機械器具		11		12		20	8	66.7
01 造船業	4	90	2	71	3	82	11	15.5
02 自動車製造	1	54	1	33		44	11	33.3
03 鉄道車両						1	1	-
09 その他輸送機械		6		5		2	-3	-60.0
15 輸送機械製造	5	150	3	109	3	129	20	18.3
16 電気・ガス		4		3		4	1	33.3
17 その他の製造	1	31		42		55	13	31.0
01 製造業小計	8	713	5	701	4	767	66	9.4
02 鉱業小計		3		5		3	-2	-40.0
01 土木工事	4	81	5	82	2	73	-9	-11.0
01 鉄骨・鉄筋家屋	1	40		35		44	9	25.7
02 木造家屋建築		58		61		61		
03 建築設備工事	1	26		13		8	-5	-38.5
09 その他の建築工事		32		53	2	48	-5	-9.4
02 建築工事	2	156		162	2	161	-1	-0.6
03 その他の建設		52		60	2	60		
03 建設業小計	6	289	5	304	6	294	-10	-3.3
01 鉄道等		8		10		9	-1	-10.0
02 道路旅客		44	1	35		37	2	5.7
03 道路貨物運送	4	309	5	315	4	292	-23	-7.3
04 その他の運輸交通		1		1		2	1	100.0
04 運輸交通業小計	4	362	6	361	4	340	-21	-5.8
01 陸上貨物		13	1	15		13	-2	-13.3
02 港湾運送業		11		8	1	9	1	12.5
05 貨物取扱小計		24	1	23	1	22	-1	-4.3
06 農林業小計	3	87		74	1	61	-13	-17.6
07 畜産・水産業小計		24		32	1	39	7	21.9
08 商業	4	323	1	335	5	320	-15	-4.5
09 金融広告業		19		25		19	-6	-24.0
10 映画・演劇業				1			-1	-100.0
11 通信業	1	76		62		72	10	16.1
12 教育研究		14	1	19		26	7	36.8
01 医療保健業		70		74		66	-8	-10.8
02 社会福祉施設		122		139		124	-15	-10.8
03 その他の保健衛生		6		7		2	-5	-71.4
13 保健衛生業		198		220		192	-28	-12.7
14 接客娯楽		117		111		125	14	12.6
15 清掃・と畜	2	101		101	2	120	19	18.8
16 官公署		2		2		5	3	150.0
01 派遣業		2				2	2	-
02 その他の事業	1	83	1	101	2	88	-13	-12.9
17 その他の事業	1	85	1	101	2	90	-11	-10.9
合計	29	2,437	20	2,477	26	2,495	18	0.7

【備考】 1 本統計は、各年別の労働者死傷報告に基づき集計した休業4日以上の人数を示す。
 2 死亡及び死傷者数は、平成24年11月30日末までに提出された労働者死傷病報告に基づき作成しておりますので、署・業種別死亡災害発生状況の人数とは一致していません。

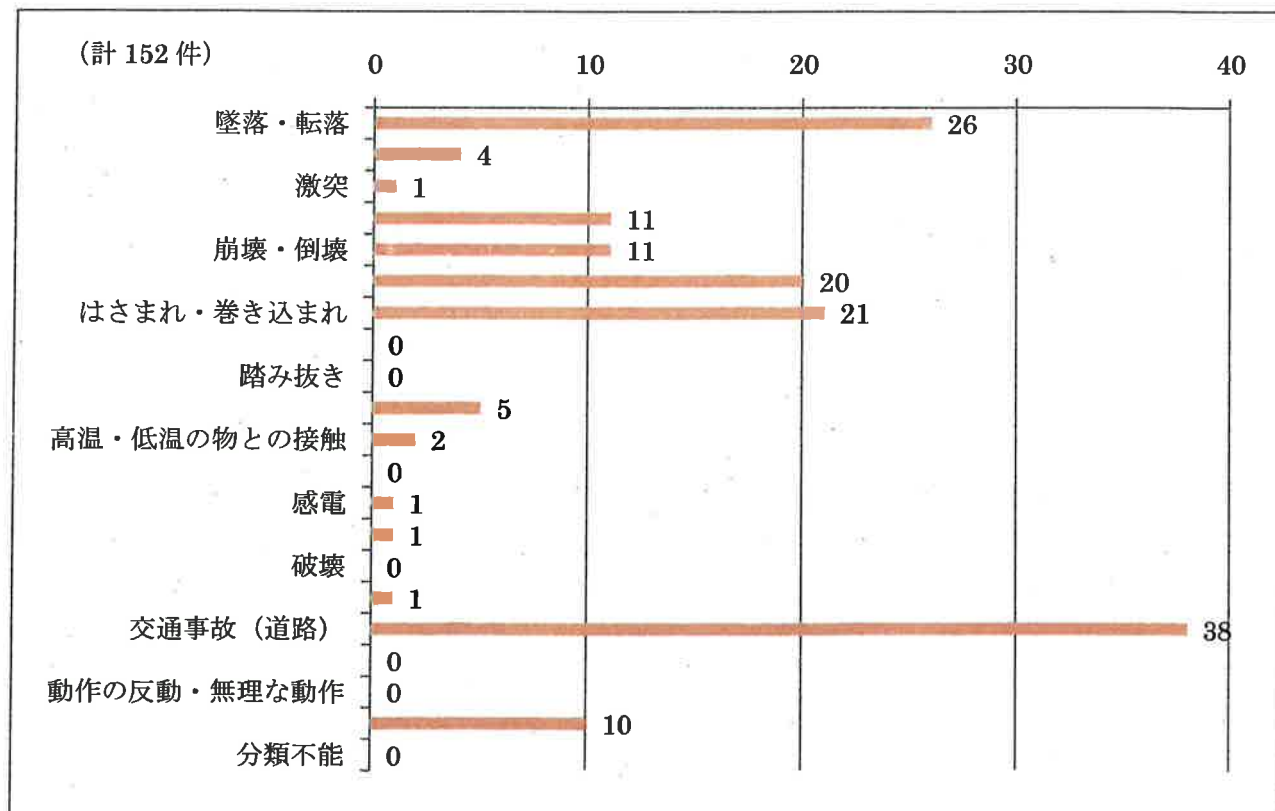
平成 20～24 年 死亡災害発生状況

平成 24 年 12 月 31 日現在
広島労働局

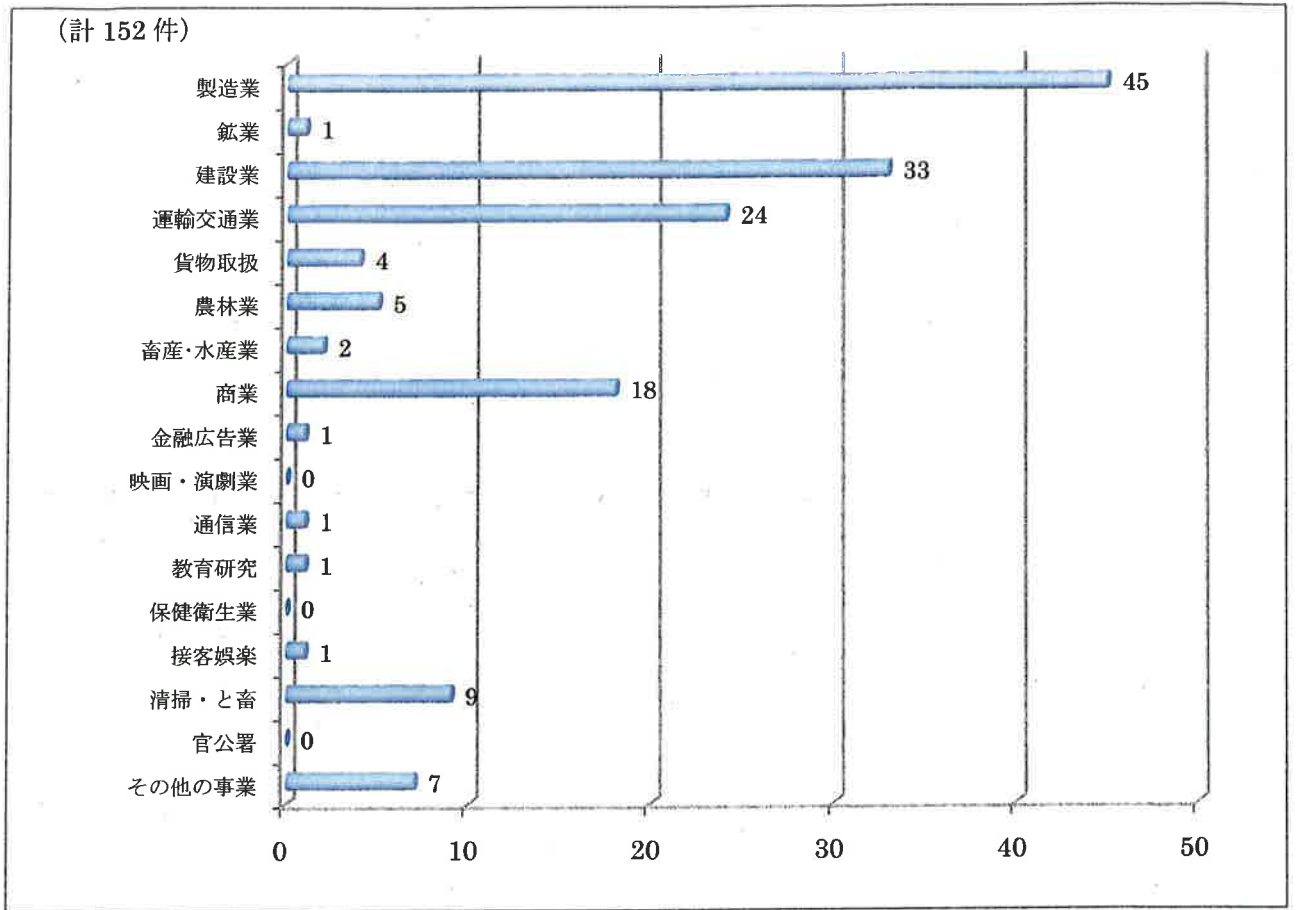
1 起因物別



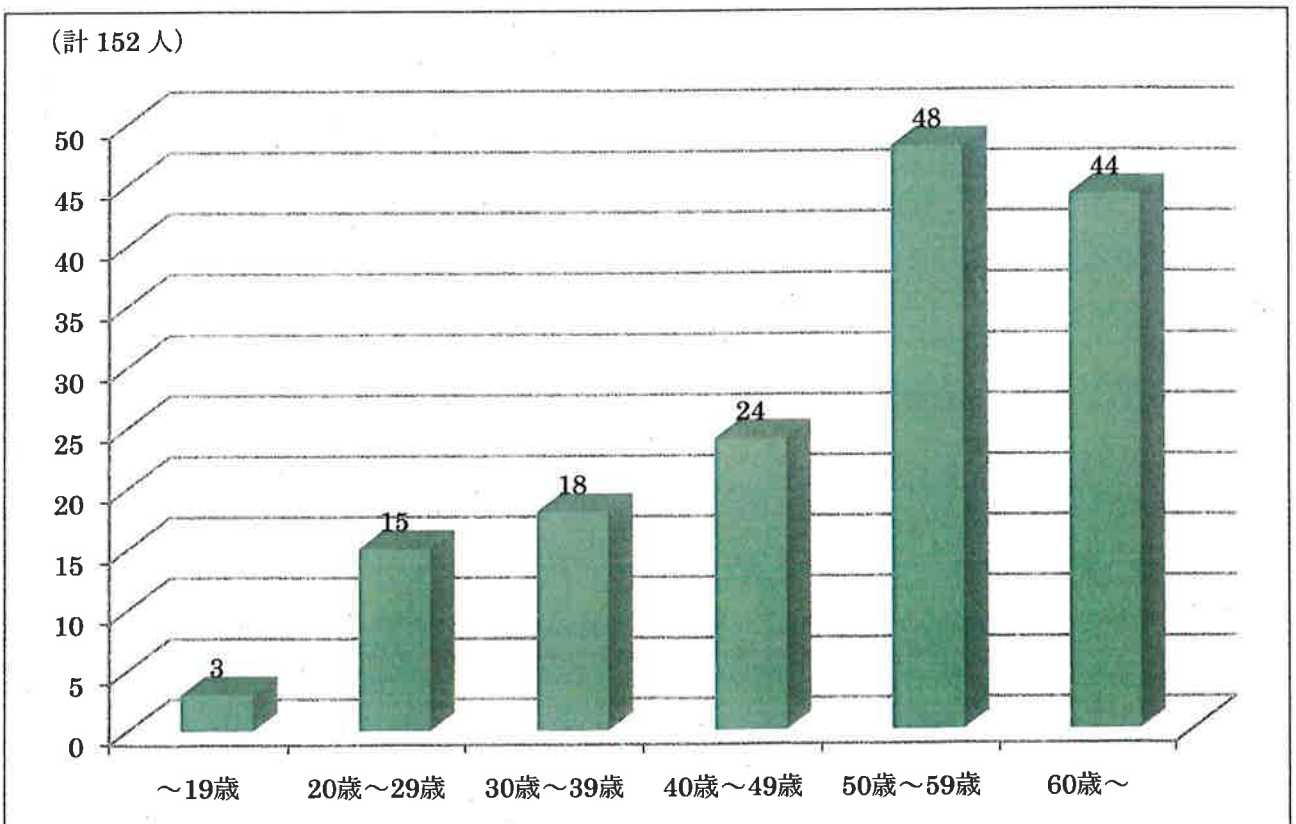
2 事故の型別



3 業種別



4 被災者の年齢別



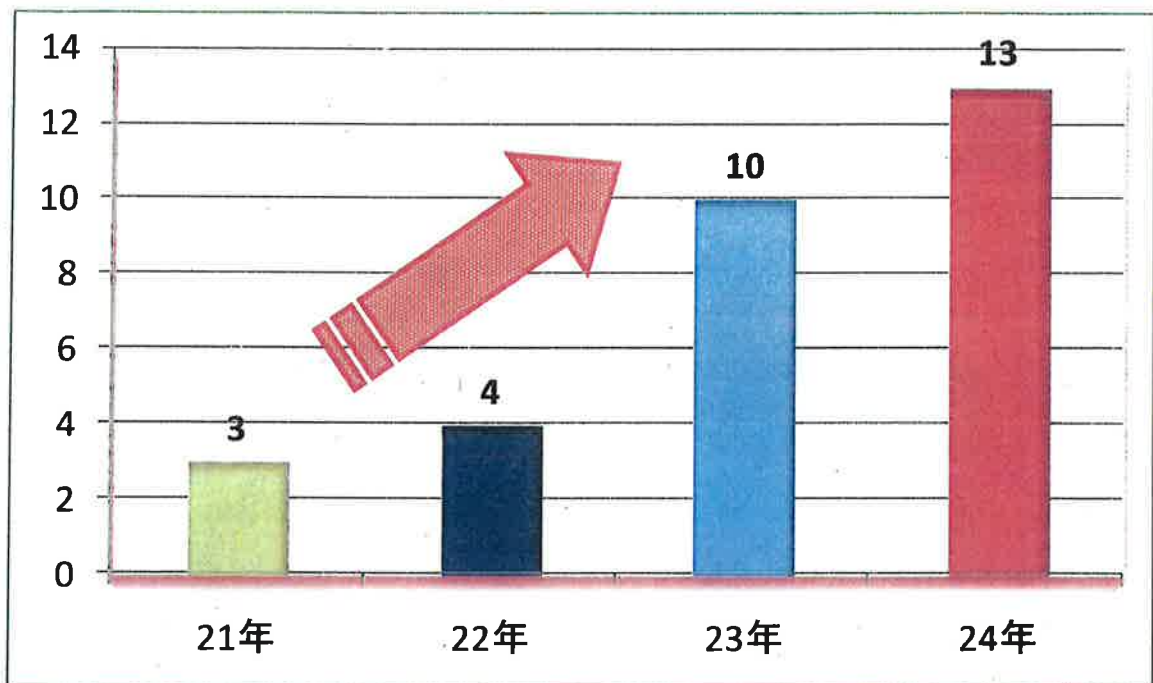
平成20～24年 事故型別・起因物別死亡災害発生状況

広島労働局

	墜落・転落	転倒	激突	飛来・落下	崩壊・倒壊	激突され	はさまれ・巻き込まれ	切れ・こすれ	踏み抜き	おぼれ	高温・低温の物との接触	有害物等との接触	感電	爆発	破壊	火災	交通事故(道路)	交通事故(その他)	動作の反動・無理な動作	その他	分類不能	計
原動機	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
動力伝導機構	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
木材加工用機械	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
建設用機械	4	1	0	3	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11
金属加工用機械	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
一般動力機械	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
動力機械	4	1	0	4	0	2	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	18
動力クレーン等	0	0	0	1	0	6	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	9
動力運搬機	3	1	0	0	1	5	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	37
乗物	1	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	16	0	0	0	0	25
物上げ装置、運搬機械	4	1	0	1	2	12	13	0	0	0	0	0	1	0	0	0	21	0	0	0	0	71
圧力容器	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
化学設備	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
溶接装置	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
炉、室等	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
電気設備	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
人力機械工具等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
用具	1	0	1	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
その他の装置、設備	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6
その他の装置等	2	0	1	3	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
仮設物、建築物、構築物等	16	1	0	2	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	10
仮設物、建築物、構築物等	16	1	0	2	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	24
危険物、有害物等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	24
材料	0	0	0	0	4	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
物質、材料	0	0	0	0	4	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	7
荷	0	0	0	1	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8
荷	0	0	0	1	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
環境等	0	1	0	0	0	1	0	0	0	4	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
環境等	0	1	0	0	0	1	0	0	0	4	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
その他の起因物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8
起因物なし	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	3
分類不能	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	6
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	26	4	1	11	11	20	21	0	0	5	2	0	1	1	0	1	38	0	0	10	0	152

死亡災害が多発しています！

<10月～12月に多発>



平成24年10月～12月に死亡災害が多発しています。

本来、あってはならない労働災害です。特に重篤な「死亡災害多発傾向」にストップをかけましょう！

平成23年度も年末にかけてのこの時期に死亡災害が増加しました。平成24年度も同様な傾向が続いています。

過去5年間（平成20～24年）特に発生件数の多い災害は、「運搬機械・乗物」による災害と「墜落・転落」災害です。また、平成24年度は交通事故による死亡者が再び増加しています。

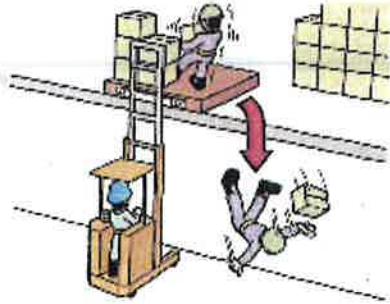
皆さん、運搬機械・乗物を使用する際の安全確保、高所作業における墜落・転落防止対策は万全ですか？ 作業前の再確認をお願いします。

広島労働局・各労働基準監督署

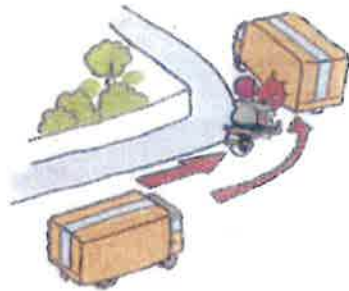


作業前に安全を再確認しましょう。

運搬機械・乗物による災害の防止



- フォークリフトを作業者の昇降や荷のつり上げに使用してはいけません。
- 作業スペースに応じた作業計画、制限速度を定めましょう。



- 4輪車の運転席には死角があります。走行車両に注意しましょう。
- 二輪の交通事故の多くは出会頭、右折時に発生しています。
- 「信号よし!」、つぶやき呼称で安全を確認しましょう。

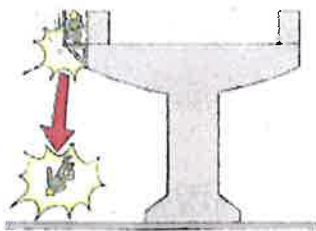
- 交通ルールの遵守、過積載の防止により安全運行に努めましょう。
- 余裕のある運行計画で安全運転を心がけましょう。
- 安全運転は体調管理から。体調の悪い時は管理者に報告しましょう。



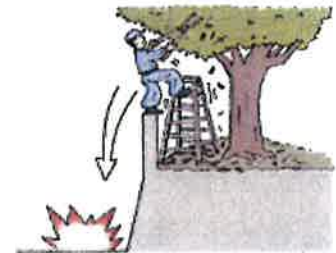
- 運送事業での労働災害の約7割は荷役作業時に発生しています。
- 荷台上の作業では保護帽を着用しましょう。
- 荷締め作業時の車両の逸走を防止するため、歯止め措置を講じましょう。



墜落・転落災害の防止



- 高所作業では、足場、作業床を設置し、手すり等の墜落防止措置を講じましょう。
- これが困難な場合、安全ネットの設置、安全帯の使用を徹底しましょう。



- 脚立の天端は足場に使用しない。脚立足場（馬足場）を組みましょう。
- 足もととは2m未満でも、多くの場合、頭の高さは2mを超えています。
- 移動はしごは、建物に固定する等転移防止措置を講じましょう。